

委員

常任委員会の活動

総務文教常任委員会

産業厚生常任委員会



▶ 広野小学校再開に思わず笑顔（いわき市立中央台南小学校）

産業厚生

水

稲作付けを前提に準備を進める
平成24年農作物の作付けに向けての
取り組みについて

当町は、国・県および放射線関連の民間業者に依頼し、放射性物質の空間線量と土壌や野菜等の含有量を調査しています。

特に土壌調査においては、国が作付けの制限としている1キログラム当たり※5000ベクレルを超える農地は無かったことから、平成24年は水稲の作付

けを実施することを前提に種もみ等の準備を進めていきますが、結果として風評被害による米の販売に影響がでた場合の補償は、国および東京電力(株)に対して要望していくとの説明を受けました。

本委員会は、私有財産については個人で可能な限り除染をすることが基本的な考えであ

るといふ意見が多く出され、そのために除染に関する説明会を数多く実施するとともに、長い避難生活で伸び放りとなった水田の雑草処理は、自己保有のトラクターでの耕起は困難なため、大型機械の購入と刈り取り後の雑草を運ぶ制度の確立を要望しました。

※ベクレル (Bq)

ベクレルは放射能の強さを表す単位で、放射性物質から1秒間に放射線が何回出るかを表します。例えば、10ベクレルの放射能をもつ放射性物質は、1秒間に10回、放射線を出しています。



▲一日の始まりはラジオ体操から（中央台地区仮設住宅）

産業厚生

き

め細かい支援事業の展開を
仮設住宅における高齢者の対応について

仮設住宅の入居状況は、75才以上の高齢者が約半数を占めていることから、当町では生活面・健康面など様々な支援事業を実施しています。

また、仮設住宅における自治組織の結成を進めているとの説明を受けました。

当委員会としては、関係グループとの連絡調整を密にし、きめ細かい支援事業を展開していくことと、民間借り上げ住宅の居住者と広野町に在住する高齢者にも対応していくよう要望しました。